

とくしま先進政策講座

研修単位
2単位

Ⅰ 水素社会

ごあいさつ

かとうけんじ

グランドアンカー **加藤 研二**

(阿南工業高等専門学校 准教授)



近年の地域社会を取り巻く環境は大きく変化してきています。公務員もこうした変化に素早く対応し、新しい知見や技術を地域にシナやかに取り入れ、政策をダイナミックに構築していく必要があります。

今年度、徳島県自治研修センターにおいて、「とくしま先進政策講座」を全4回に渡り開講するとともに、第一線で活躍する研究者や技術者を講師に迎え、講師とのワークショップや名刺交換の場をつくり、人脈構築にも役立てて頂くことしました。

今回の第1回のテーマは「水素社会」。九州大学をはじめ、最先端の先進事例を御紹介します。アンカーは本県での低炭素社会構築に携わった島根大学の服部 大輔 先生が担当します。御期待ください。

★研修情報

●対象者

徳島県・県内市町村職員で、所属長からの推薦があった者
関西広域連合構成府県・政令市の職員
一般希望者

●募集人員

40名（徳島県・県内市町村職員合同）
10名（関西広域連合構成府県・政令市職員）
※ほか一般希望者で10名の参加枠を確保

●日程及び会場

平成29年11月22日(水)
9:25~16:45

徳島県自治研修センター
(徳島市南庄町5丁目77-1)

★講師紹介

九州大学水素エネルギー国際研究センター 教授 **林 灯**

燃料電池の仕組みから、FCVや家庭での利用、さらに都市構築まで、様々な話題を分かりやすく紹介。



高砂熱学工業(株) イノベーションセンター

技術研究所 主査 **加藤 敦史**

水素を使った業務用エネルギーシステムについての第一人者による講義。



環境省中国四国地方環境事務所 環境対策課 課長

原田 幸也

中国四国地方の環境行政の業務を統括する地方環境事務所から、国の動向等について紹介。

徳島県自然エネルギー推進室 室長補佐

内海 はやと

徳島県における水素社会構築に向けた取組について最新の事例を交えながら解説。

第1回アンカー・島根大学産学連携センター 准教授 **服部 大輔**

低炭素社会の実証試験やコンソーシアム構築を数多く手掛けた経験から水素社会構築の方向性を探る。



ファシリテーター・徳島大学

上勝学舎 客員教授

澤田 俊明

ファシリテーションを通じて、様々な立場からの意見を共有していく。



※この講座は、オムニバス講義・ワークショップ・名刺交換会の3部で構成されるマッチングフォーラム形式を採用しています。人数に限りがあるため、お早めにお申し込みください。

★お申込み・お問合せ

【お申し込み】 JoruriGwポータルの「照会・回答システム」でお申込ください。後日、受講決定通知をお送りします。

【締め切り】 **平成29年11月13日(月)**

【お問い合わせ】 徳島県自治研修センター (088) 631-8813



平成29年度「とくしま先進政策講座Ⅰ（水素社会）」実施細目

- 1 目 標
地方創生の実現に向け、政策のフロンティア領域のテーマとして4分野を選定し、マッチングフォーラム形式による新しい講座を実施する。
第1回講座では、究極の脱炭素技術と言われる水素利用について、研究の先端を走る九州大学をはじめ、行政や企業からの情報を交えながら、水素社会の未来を展望する。
- 2 日 時
平成29年11月22日(水) 午前9時25分から午後4時45分まで
- 3 場 所
徳島県自治研修センター（徳島市南庄町5丁目77-1） ☎ 088-631-8813
- 4 対象者
所属長からの推薦があった県職員及び市町村職員
関西広域連合構成府県・政令市の職員
- 5 研修形態
県職員：単位研修(2単位)/市町村職員：特別研修/関西広域連合：団体連携型研修
マッチングフォーラム形式(オムニバス講義・ワークショップ・名刺交換会)
- 6 受講定員
50名（県・市町村職員合同/関西広域連合構成府県・政令市職員）
※定員を超える推薦があった場合は、推薦状況等により受講者を決定する。
- 7 日 程

時 間	プログラム（予定）	研修方法
9：25～ 9：30	オリエンテーション	
9：30～12：15	1 チェック・イン (1)ガイダンス(概要説明)・アイスブレイク (2)研修課題①：カード記入説明(気づき・質問) 2 キーノートスピーチ (1)コンソーシアムの活用(服部 大輔) (2)九州大学での取組(林 灯) (3)県における取組(内海 はやと) (4)水素社会と地域社会(加藤 研二) (5)研修課題②：カード記入と模造紙貼り付け	講義・演習
12：15～13：15	昼食休憩	
13：15～16：30	3 トークセッション (1)国における動向(原田 幸也) (2)水素社会と将来の展望(加藤 敦史) (3)研修課題③：カード記入と模造紙貼り付け (4)グループ分け 4 対話(ワークショップ) (1)チェックイン(ガイダンス・自己紹介・役割分担) (2)グループ対話 (3)グループ代表者発表 5 まとめ	講義・演習
16：30～16：45	アンカー講評・研修評価・名刺交換会	

- 8 アンカー(注：講師については別添資料参照)

所属・職	氏 名
島根大学産学連携センター准教授	服部大輔 (はっとり だいすけ)